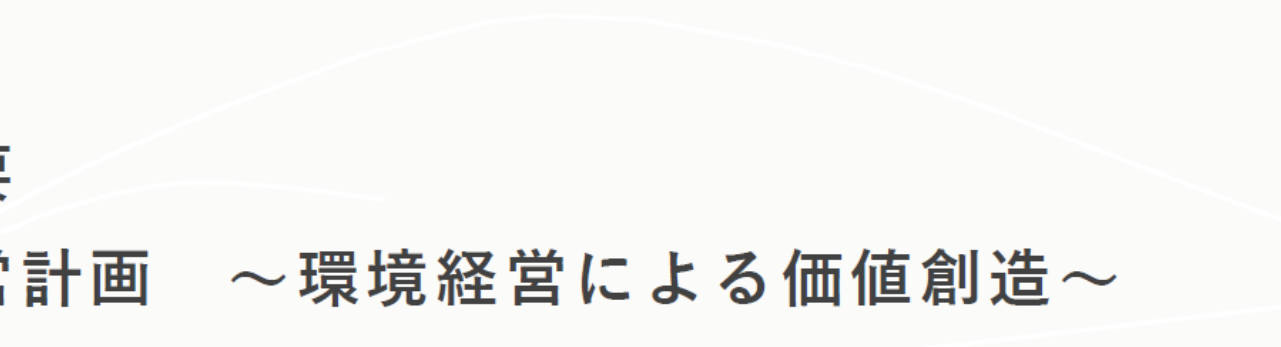


# 東急リゾートタウン蓼科における 森林クレジット創出と活用

東急不動産株式会社 ウェルネス事業ユニット 事業戦略部 内山幸士

2023.3.8

- 
1. 企業概要
  2. 中期経営計画 ～環境経営による価値創造～
  3. 東急リゾートタウン蓼科 ～「もりぐらし」プロジェクト～
  4. 森林クレジット創出と活用

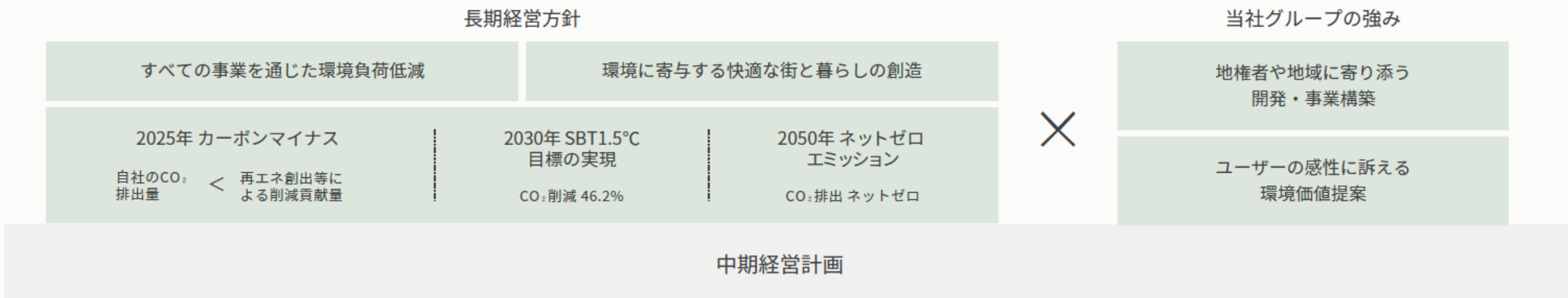
# 1. 企業概要

東急不動産ホールディングスグループは、価値を創造し続ける企業グループとして、お客さまのライフスタイルを創造・提案しています。

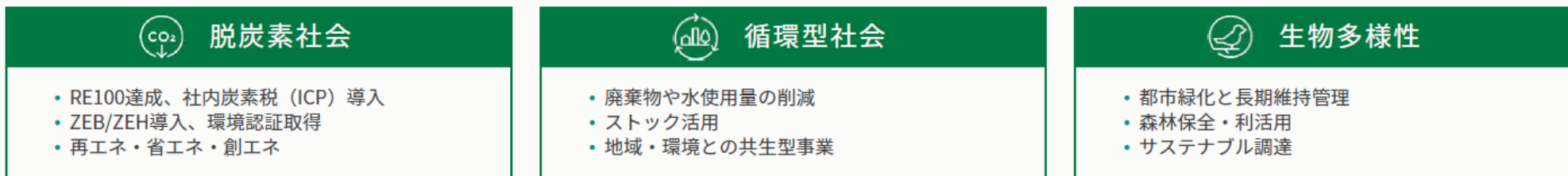


## 2. 中期経営計画 ～環境経営による価値創造～

脱炭素社会・循環型社会・生物多様性への取り組みを通じて、環境を起点とした事業機会の拡大をめざす。



### 環境を起点とした事業機会の拡大

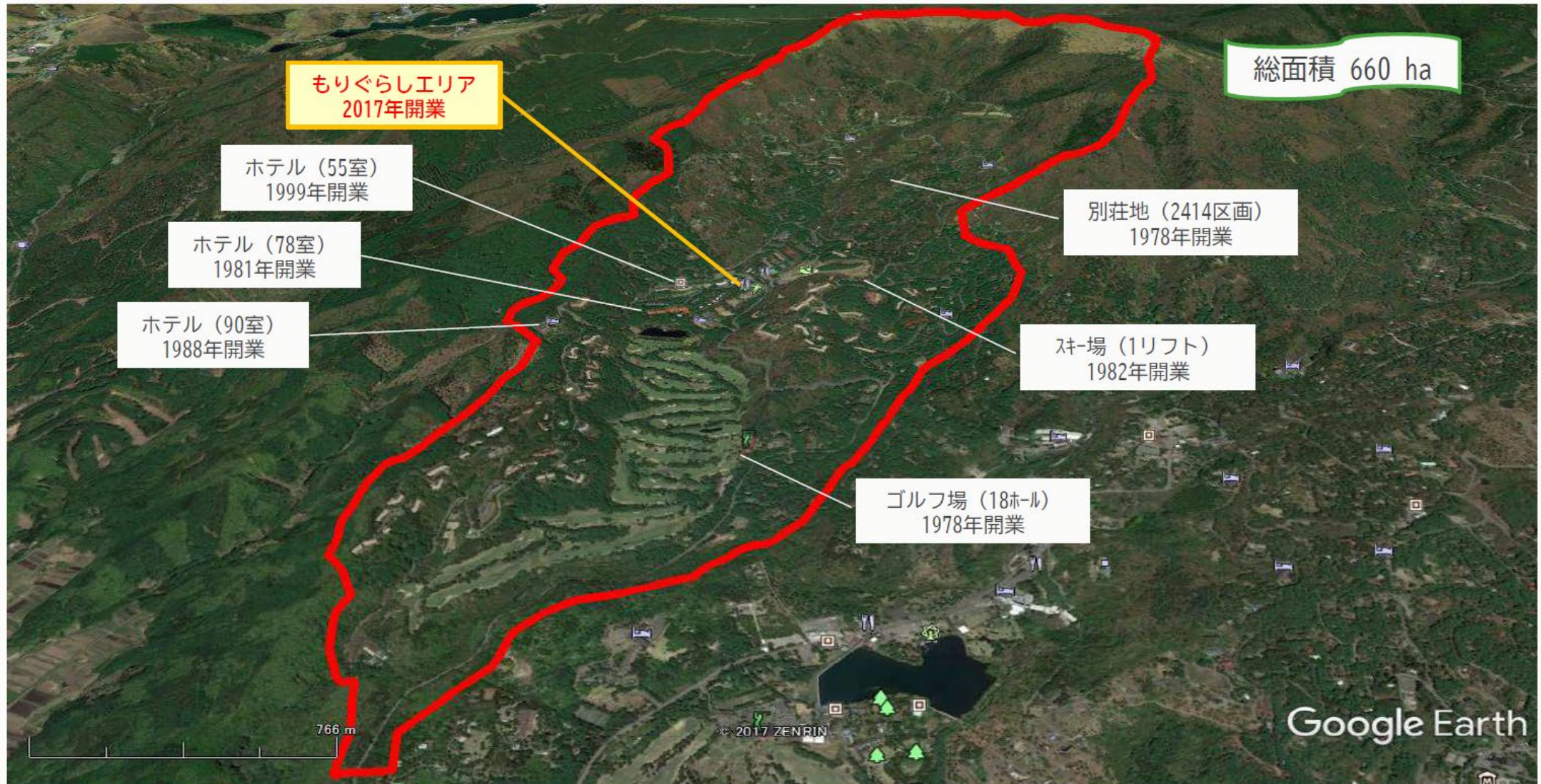


取り組み方針：幅広い事業領域の各場面で環境ソリューションを提供し、ステークホルダーとともに環境価値創出を図る



### 3. 東急リゾートタウン蓼科 ～「もりぐらし」プロジェクト～

1978年に開業した広大な敷地に約2,400戸の別荘、ホテル、ゴルフ場、スキー場などを備えた複合リゾート地。



### 3. 東急リゾートタウン蓼科 ～「もりぐらし」プロジェクト～

「もりぐらし」とは、森を想い、未来につなぐ取り組み。森を「まもる」、「つかう」、「つなぐ」。このサイクルを通じて、持続可能な環境をつくる。さらにお客さまへ森林資源の価値提供を行う。

東急不動産、東急リゾート&ステイ、茅野市、諏訪広域脱炭素イノベーション協会が「地域循環共生圏」に関する包括連携協定を締結。

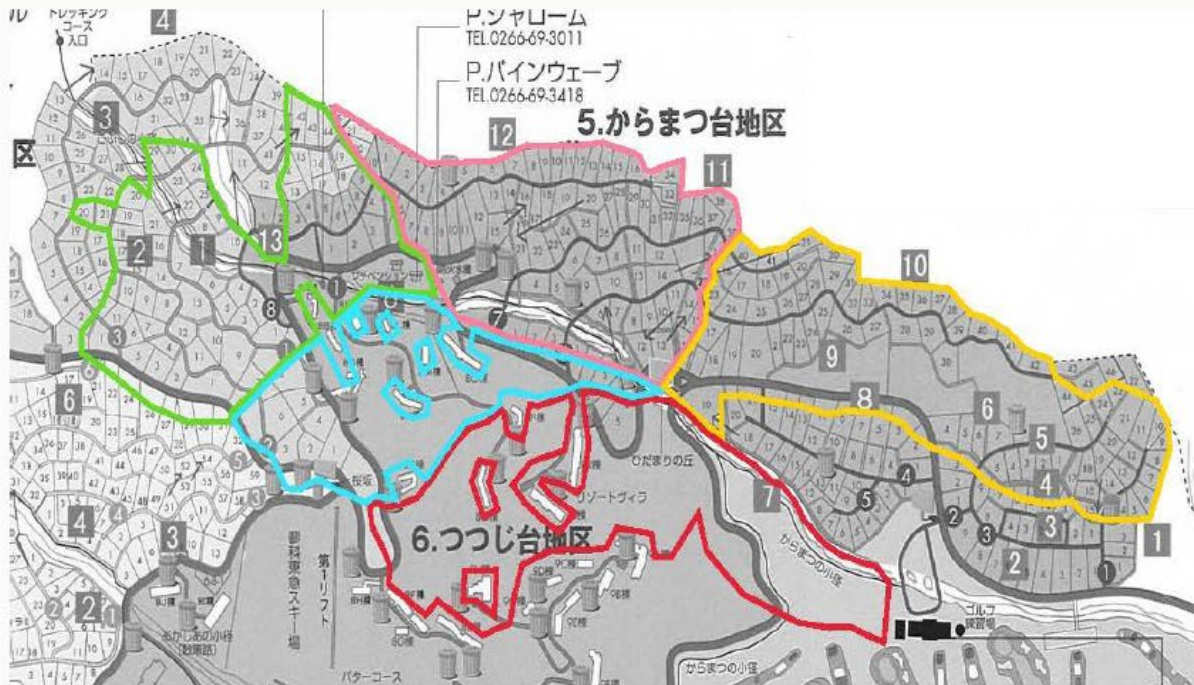


### 3. 東急リゾートタウン蓼科 ～「もりぐらし」プロジェクト～

森を「まもる」ために、森林経営計画を策定し保全間伐を実施。

#### 森をまもる

- ・ 2012年に集中豪雨で大規模な土砂災害発生 ※人工林の保全措置がされていなかったことが原因の一つ
- ・ 2017年に総面積660haのうち、275ha分の森林経営計画策定
- ・ 2018年から約10ha/年の保全間伐開始



### 3. 東急リゾートタウン蓼科 ～「もりぐらし」プロジェクト～

間伐した木材を有効に「つかう」＝付加価値を高める活動を実施。

森をつかう

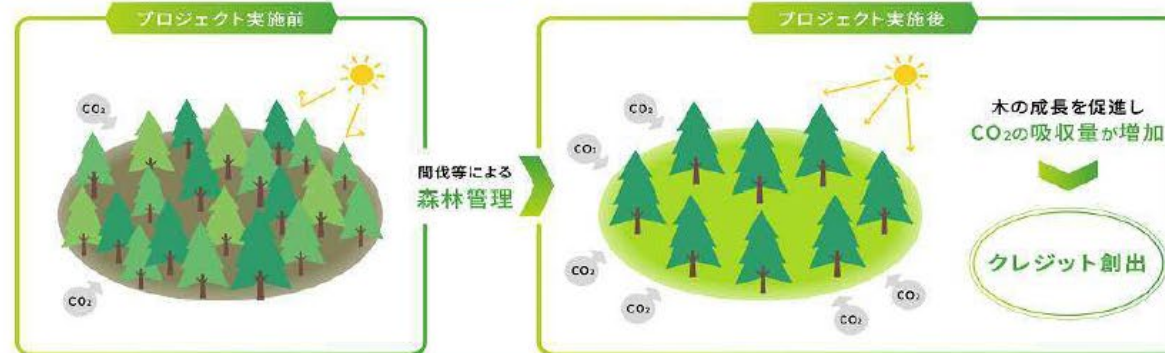
チップ化によるバイオマスボイラー燃料活用



家具や小物等での活用



森林クレジット化





### 3. 東急リゾートタウン蓼科 ～「もりぐらし」プロジェクト～

様々な人たちと森林を「つなぐ」＝森林サービス産業を推進し、お客さまへ森林資源価値を提供。

森をつなぐ

グラマラスダイニング（森で食べる）



フォレストアドベンチャー（森とあそぶ）



クラスベツソ（森に泊まる）



## 4. 森林クレジット創出と活用

自社管理森林資源の活用によるカーボンオフセットとともに、クレジット市場形成を予測し事業機会の獲得をめざす。

- ・ 2022年6月に森林クレジット認証登録。
- ・ すでに森林経営計画に基づく間伐実績のある20ha(年間約50tのCO2吸収量相当)が早期に手続可能。

⇒ 次の森林経営計画策定に向け、**スマート林業化(ドローン測量)**支援



### 活用想定

#### 自社事業地「内」

- ・ 自社施設(既存・新規)CO2排出とのオフセット
- ・ クレジット売却  
(GXリーグ等環境負荷低減活動活性化  
→市場形成予測)

#### 自社事業地「外」

- ・ 自社事業地でのノウハウを展開  
→事業機会獲得と森林経営への貢献  
(森林所有者や事業者の環境推進支援)



***WE ARE GREEN***



**東急不動産ホールディングス**